

海の環境問題を  
楽しく学ぼう!

# 海の 自由研究フェス 2022

7/16<sup>土</sup>・17<sup>日</sup> 11:00-17:00

## イベント実施報告書

〈日本財団 海と日本PROJECT〉

海の環境問題を  
楽しく学ぼう!

# 海の 自由研究フェス 2022

7/16土・17日 11:00-17:00

## 概要

開催日時：7月16日 (土) 11:00~17:00  
7月17日 (日) 11:00~17:00

会 場：Plug and Play Shibuya  
(東京都渋谷区道玄坂1-10-8)

実施内容：①ワークショップ  
②ごみアート展示&制作  
③海の環境学習(絵本、書籍、写真)  
④トークショー  
⑤キッズごみ拾い  
⑥海の環境ムービー上映会  
⑦フォトブース

助成団体：日本財団【海と日本プロジェクト】

協力企業：株式会社Yogibo  
日本製鉄株式会社



開海洋汚染、地球温暖化、生き物の絶滅など、  
海を取り巻く問題は深刻化しており、  
2050年の地球の海は魚よりもごみの方が多くなるとも。

地球を、海を守るために私たちできることは？  
これからの未来を担うのは、今の子供たち。  
子供たちが環境問題を身近に感じ、  
楽しみながら学べる機会を提供したい。

この思いのもと2018年より本イベントはスタートしました。  
3年ぶりのリアル開催となった2022年は、  
海の環境問題や生き物をテーマにしたワークショップ、ごみアート、  
トークショーやムービー上映会、キッズごみ拾いなど  
様々なコンテンツをご用意しました。

# 告知



告知にはグラフィックデザイナーの安藤真理氏に依頼し、  
ウェブサイトとチラシを新たに製作しました。  
教育関連や子供向けメディアにアプローチを行いました。  
(安藤真理氏HP: <https://marii.jp>)

# メディア



当日はNHKやシブヤ経済新聞に取材を受け、テレビとウェブで掲載していただきました。  
NHK: <https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20220716/1000082358.html>  
渋谷経済新聞: <https://www.shibukei.com/headline/16841/>

## ワークショップ

### ワークショップ①

【マイクロプラスチックでキーホルダーを作ろう！】



海の生き物たちを苦しめている「マイクロプラスチックごみ」  
このごみを材料にキーホルダーを作りました。

### ワークショップ②

【釣って学ぼう「鉄」の秘密！】



何度でも何にでも生まれ変わる「鉄」について、  
釣りゲームを通じて学びました。

## ワークショップ

### ワークショップ③

【繰り返し使える蜜蝋ラップを作ろう！】



「ミツロウ」と「布」を使って、何回でも繰り返し使える魔法のラップを作りました。

### ワークショップ④

【シーグラスでクラゲの風鈴を作ろう！】



クラゲの生態系を学びながら、海のキレイなごみ「シーグラス」を使って、夏の風物詩「風鈴」を作りました。

## ワークショップ

### ワークショップ⑤

【ハンカチをサンゴの骨格で染めよう！】



絶滅の危機に直面している「サンゴ」この原因を学びながら、サンゴの骨格でハンカチを染めました。

### ワークショップ⑥

【本物のウニのからで「ウニランプ」を作ろう！】



高級食材「ウニ」が海に悪影響を与えている原因を学びながら、本物のウニの殻で「ランプ」を作りました。

## ワークショップ

### ワークショップ⑦

【世界にたった一つのゴミアートを作ろう！】



誰かがポイ捨てしたごみも見方を変えればアートに！  
世界にたった一つのゴミアートを作りました。

### ワークショップ⑧

【子どもたちが主役！渋谷の街をゴミ拾いしよう】



舞台は大都会・渋谷の街。主役は子供たち。  
「みんなでごみを拾って、海へ流れるのをストップさせよう！」  
Yogiboビブス&トングを装備し、みんなで協力しながら  
ゴミを拾い街をきれいにしました。

## 特別コンテンツ

### 特別コンテンツ①

#### 【豪華ゲストによるトークショー】



TikTokやYoutubeで人気急上昇中の「WOWキツネザル」氏と「さかなのおにいさん かわちゃん」氏のお二人によるトークショーを開催。海の環境問題や海の生き物の秘密を楽しくわかりやすく解説していただきました。

### 特別コンテンツ②

#### 【YUKI IWAMA -ごみアート展-】



様々なジャンルで活躍する新世代アーティスト 岩間有希氏による、海ごみから生み出したアート作品を展示しました。ごみアートのワークショップの講師も務めていただきました。

## 特別コンテンツ

### 特別コンテンツ③

#### 【スペシャルムービー上映会】



ニューヨークの小学5年生の生徒たちがプラスチック汚染問題を学び、解決に向けて自らアクションを広げていく2年間を追った長編ドキュメンタリーを上映しました。

### 特別コンテンツ④

#### 【海の世界学習ルーム】



ワークショップの合間や休憩時間を有効活用してもらおうと、学習ルームでは海の世界問題や生き物に関する本や作品を展示。ふかふかのyogiboに座りリラックスできる快適な空間を提供しました。

## 特別コンテンツ

### 特別コンテンツ⑤

#### 【海のフォトブース】



海のフォトブースを設置しました。  
可愛らしい海の装飾に加えて優しくハグしてくれるHugiboや  
海に生息するYogibo Mateをならべ、一緒に記念撮影。  
自分が作った作品を持ちながら皆さん様々なポーズをとり  
「映え」な写真を撮ってくれました！

## 来場者数

来場者数：740名

(1日目：440名、2日目：300名)

事前応募者数：928名

トークショー動画再生回数：6600回

コロナ禍中という事でギリギリまで協議を重ね、  
事前申込制・人数制限を設けての開催となりました。

イベントの様子





## 総括



3年ぶりの開催となりましたが、  
過去一のコンテンツを揃えました。

今やテレビや新聞、学校の授業でも  
SDGsや環境問題に触れる機会が増え、  
この3年で子供たちの興味関心が高まっていることに驚かされました。

コロナ渦中にも関わらず、  
多くの方々にご来場頂き、  
改めてこのイベントの意義を感じました。

そうした中、主催者である私たちにとっても  
非常に有意義な機会となりました。

それは初めての試みとして  
今回、運営のほとんどを内政で挑みました。

主に各チームに所属する学生メンバーが中心となり、  
ワークショップの講師や受付、フォトブース、設営、装飾など、  
何度も研修や打合せを重ねながら、  
一人一人が責任と役割をしっかりと持って挑みました。

子供たちと同じ目線で話そうと姿勢を低くして話したり、  
各ワークショップが終わる度にメンバー同士で話し合い、  
改善を重ねていくなど、状況に応じて主体的に動く  
その姿はとても頼もしかったです。

個人としても団体としても、  
今後つながる貴重な機会になったと感じております。